

会が終わりました。

いわゆる教室の発表会ですが、音楽教室の発表会というものは、退屈でつまらない、という定評があります。それで、ゆめのsalonで昔行っていた会は、未熟な方から1・2・3・・・と順番に並べたものではない、レベルに応じて編曲などをして、連弾、楽器を加えて合奏を入れたり、などなどプログラムをトータルに工夫して、少々長い時間も、みんな最後まで、楽しかった、といていただだけの会を、ときどき持っていました。ゆめのsalonの会は、誰もとちらないというのが、ひそかな自慢でしたが今回は、先生からして・・・ほんとに、お粗末なことで、お恥ずかしいことでした。音楽会は2時間が限度、下手な演奏を3時間も・・・と会の前に、ずいぶんと批判もされながら、確かに、学ぶべき時間不足のかたも多かった、にもかかわらず、十分な3時間を、みなさん、静かに、よく、お聞きくださったことを、そのことをうれしく感謝したい気持ちでいます。

いまの学校教育は、試験の点数で、人生の道が決められてゆく。成績万能。試験の点数で人生の道が開かれたり閉ざされたりしています。

点数で計れる学校の成績、というものは、人間の特性のほんの1分野に過ぎません。理解の速さ、暗記の量・・・が主でしょうか。けれども点数で計れるものは限られています。音楽の演奏にしてもそうです。質は計れません。非常によいものをたくさん身に備えながら、学校の成績、点数が振るわないことで、人間として認められず、そのことでだめになってゆく人が増えています。これが社会問題を生んでいます。

音楽の場合も、ピアノだけ、歌だけ・・・がうまくてもだめ、技術、知識だけでなく、人間がよくならなければだめなのです。それを言葉で説明することがちょっと難しいのですが、ゆめのsalonでは、<生きた教育>を理念に、いつも楽しく、自然に伸びる身についた知識、技術に加えて、きびしく、やさしい人、かたよらないトータルな人間、全人格、性格の向上を求める人になっていただくこと、を目指しています。

「原因と結果」読んでください。「夢ノート」書いてくださいね。

人に本をいただいて、うれしいことは少ない。それは、世界は広くて、人の興味関心はまことに千差万別、そして同じ人でも、人生の過程で時間の差によってもちがってきます。今の自分にぴったりの本、というのは、自分以外の人にはわかりません。でも万人に読んでほしい本、というものもあります。

このごろは物は何でもあり、なにをもらっても、ひとがあんまり喜ばない時代になっているので、まえから、ぜひ皆様にお読みいただきたい、と思っていた本を読んでいただくことにしました。思うこと！の不思議。人生は<思い>がすべてです。

人は自分の中に、本当の自分がいて、この世で十分に自分を活かしたい、真の自己を発揮したい、自分の花を咲かせなければいけないものが、だれにもあるはずです。

「夢ノート」をうずめてください。あなたの夢を、何でもいい、望むこと、ほしいもの・・・とどんどん書いていってください。

「原因と結果」どうかこの本を、面白く！読んでください。

会について、あなたの思われたこと、ご自身について、会全体について、なんでもいい、ご感想、反省、ご意見、いろいろ書いて、お聞かせください。

来年のレッスンは 1月6日曜日 から始まります。 良いお年をお迎えください。